

(仮称)福山駅前再生ビジョン (たたき台)

2017年(平成29年)3月
福山市 建設局 都市部 福山駅前再生推進室

福山駅前の再生に向けて

備後都市圏の玄関口である福山駅前は、備後都市圏及び福山市の交通結節点として重要な役割を担っている場所です。しかしながら、商業機能の低下等により空洞化が進み、まちの魅力やにぎわいが感じにくくなっています。本市では福山駅前の再生に向けて、行政や市民、関係地権者や事業者等が目指すべきまちの姿を共有し、その実現に取り組んでいくため、2017年度（平成29年度）に（仮称）福山駅前再生ビジョンを策定します。

このビジョンは伏見町地区や三之丸町地区を含むエントランスゾーンを中心として、20年後の福山駅前における魅力的な都市空間のイメージを描くものです。ビジョンを通じて女性や若者、子どもから高齢者までのあらゆる世代が生き生きと暮らせる新たなライフスタイルの提案や、駅周辺に民間が投資しやすい環境の方向性を示すことにより、行政と民間が連携して魅力とにぎわいの再生につなげていきたいと考えています。

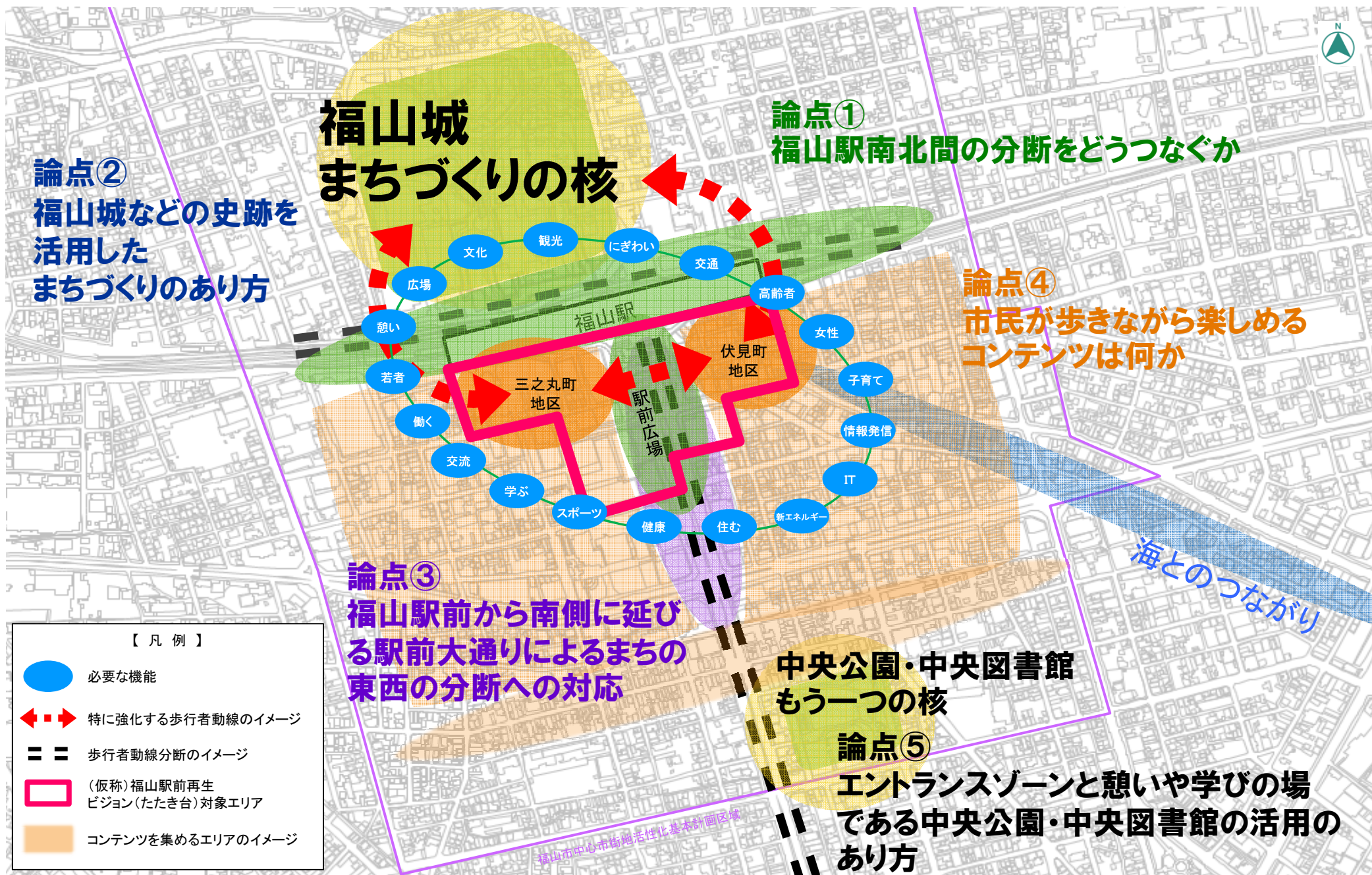
（仮称）福山駅前再生ビジョン（たたき台）について

ビジョンの策定にあたっては、「住む、観る、憩う、学ぶ、働く、集う、そして発信する」といった視点に加え、都市デザインやブランディング、建築、女性の活躍など様々な分野の専門的な知見を取り入れるため、福山駅前再生協議会を立ち上げ、ダイナミックな議論を展開していくこととしています。

このたび、第1回の福山駅前再生協議会を2017年（平成29年）3月1日に開催しました。協議会では、20年後を見据えて、福山駅前は備後都市圏の玄関口であるという特性を踏まえ、エントランスゾーンに必要と考えられる都市機能について幅広い意見交換が行われました。また、エントランスゾーンの再生には、その周辺にある商業機能などとの連続性も重要です。そのため今後のまちづくりの核として重要な要素である福山城を中心とした文化ゾーンとの連携やもう一つの核である中央公園・中央図書館を活用するなど、エントランスゾーンとその周辺にある機能が相乗効果を生みながら再生していくことが必要との意見も出されました。

本市ではこれらの意見を踏まえて現時点での論点整理を行い、今後、福山駅前に集積すべき都市機能や空間的なつながりをイメージしたビジョンのたたき台を作成しました（資料1）。

今後はこのたたき台をもとに協議会での議論や市民、関係地権者の意見を伺いながら、駅前を再生していく方向性や取り組むべき課題等を整理していく予定です。



福山城 まちづくりの核

論点①
福山駅南北間の分断をどうつなぐか

論点②
福山城などの史跡を
活用した
まちづくりのあり方

論点④
市民が歩きながら楽しめる
コンテンツは何か

論点③
福山駅前から南側に延び
る駅前大通りによるまちの
東西の分断への対応

中央公園・中央図書館
もう一つの核

論点⑤
エントランスゾーンと憩いや学びの場
である中央公園・中央図書館の活用の
あり方

【 凡 例 】

- 必要な機能
- 特に強化する歩行者動線のイメージ
- 歩行者動線分断のイメージ
- (仮称)福山駅前再生ビジョン(たたき台)対象エリア
- コンテンツを集めるエリアのイメージ

福山市中心市街地活性化基本計画区域

(仮称)福山駅前再生ビジョン(たたき台) ～福山駅周辺の再生に向けて必要とされる機能と課題～

資料2

機能	福山駅周辺の再生に向けた主な課題
住む▶	高齢者や子育て家庭などが安心して暮らせる住環境の整備
	IT・SNSなどを活用した自由な働き方を求めるビジネスパーソンを受け入れる住環境の整備
交通▶	車優先の空間から歩行者優先の空間へ転換
	高齢者にもわかりやすいバスターミナルの整備
	駐輪場の整備など自転車を利用しやすい環境の整備
文化・観光▶	(外国人)観光客を誘致するための地域の歴史や自然を体感できる場の創出
	駅前が単なる通過点にならないよう、駅以外を目的地とする人の消費の取り込み
憩い▶	緑豊かな空間やおしゃれなカフェなど癒しを提供する場の創出
	駅南側への福山城や福山城公園の緑を活かした空間の整備
にぎわい▶	にぎわいを創出する主体である市民等によるエリアマネジメント
	駅前ににぎわいを創出する人材の発掘や育成
広場▶	福山城をはじめとした駅北側文化ゾーンから中央公園を一体として捉えたくつろぎの空間の整備
交流▶	ワークショップやワールドカフェの開催など交流の場の創出
働く▶	新しい働き方、新しいライフスタイルに対応するための機能の整備
女性▶	若い女性の人口流出を抑制するため、女性が働きやすい環境の整備
若者▶	若い人がビジネスチャンスを見出せる環境の整備
	大学生によるビジネスコンペの開催など学生を巻き込んだ取組
健康・スポーツ▶	高齢者が歩いてまわれる歩道整備や機能の集積
	ランニングや散歩ができる空間の整備など健康志向への対応
高齢者▶	高齢者や認知症の人が安心して利用できる交通機能の整備
	生涯学習など時間帯により複数のターゲットを対象にできる多機能型施設の整備
子育て▶	子育て家庭を支援するための場の整備
	子ども連れでも居心地がよく過ごせる空間の創出
	散歩しやすい歩行者空間の整備
情報発信▶	地域の魅力を全国に発信するため市民が誇りを持つことが必要
	福山のデニムなど繊維業をはじめとしたものづくりの技術や素材などの魅力を発信するための機能の整備
	ばらのまちふくやまの効果的な情報発信
IT▶	SNSなどの新たなコミュニケーションツールの活用